

DEPARTMENT OF PEDIATRICS, TSUKIYAMA HOSPITAL
月 山 病 院 小 児 科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (～はチルダ＝キホードの@の上の～をshiftで変換)
 携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子ども達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

予防接種週間ってなに。

3月1日から3月7日までが予防接種週間という聞きなれない週間が始まります。予防接種について知っていただく良い機会なので今回はこのことについてお話しします。

予防接種とは
 予防接種とはワクチンを接種して、免疫をつくることにより、病気に対する抵抗力をつけ、発病を予防したり、症状を軽くしたりする方法です。

予防接種の役割は
 大きくわけて2つの役割があります。ひとつは個人を感染症からまもるというもので海外旅行にいかれる際に予防接種していくもの(A型肝炎など)やインフルエンザワクチンなどを考えていただければ結構です。

もうひとつの役割は集団を感染からまもるというものです。昔、痘瘡という感染力や症状も強い病気がありましたが、現在は全世界から撲滅されています。このとき全世界でほとんどの人が予防接種を受けたため痘瘡は撲滅され、そのおかげで現在の子どもたちは予防接種を受けていないにもかかわらず痘瘡には感染しません。つまり集団で予防接種を受ければ感染症自体が弱く少なくなっていくのです。アメリカでは、おたふく風邪や麻疹がほとんど発生しません。これはアメリカでは予防接種をほとんどの人が半強制的に接種しているからです。日本では最終的には保護者の方の判断で行われているのですが**予防接種には集団に対しての責任もあること**はご承知

いただきたく思います。
この頃の日本では
 しかし、この頃の日本では、20代から30代の大人(大学生)が感染し流行するといふものです。去年に続き本年もすでに患者が多く報告されはじめました。これは、まず予防接種を受けていない人が感染するわけですが、その後、免疫が低い人、つまり予防接種しているにもかかわらず麻疹にかかる人がいるといふのです。

個人的には二度接種することによって免疫を強くして感染を予防することができるといふのですが、集団的(日本国や世界的)に麻疹の流行を少なく、弱くするには接種率を高くしなければなりません。麻疹では**全人口の95%が接種しなければ麻疹はなくなり**といわれています。接種したにもかかわらずその病気になる、というのは接種しなかった人が多かったから、という言い方もできるのです。

予防接種週間の意義は
 予防接種の接種率をあげ日本でも、しかし、を撲滅するにはどうしたらいいのでしょうか。アメリカのように強制的(接種しなければ小学校に入学できない)に接種すべきでしょうか。日本では予防接種についての恐怖心がいまだ根強くあるように思います。まずは予防接種について広く知っていただくことが大切です(予防接種に拒否的なのは父親であつたりします)。予防接種週間は予防接種を広く知っていただく上で、接種率を上げていくことを目標に日本医師会と日本小児科医会が設定しました。週間では参加した医療機関で平日の夜間や土日に予防接種が可能となります。(当院では**休日接種は毎週していること**なのですが)日ごろ働いておられなかなか予防接種に連れていけないお母さん、また兄弟が多くお父さんの休みでないご家族など、是非この機会に相談だけでもよいので予防接種について聞いてみてはいかがでしょうか。

(せっかくですからお父さんもつれていきましょ)
特に接種していただきたい方は
 平成18年から就学前(幼稚園という年長児)に麻疹・風疹ワクチンを接種することになりました。今年小学校入学の方は過去に接種していても麻疹・風疹の混合ワクチンを接種しなければなりません。この1年以内に接種されていない方は**必ず接種するように**しましょ。

和歌山市では現在まで半程度しか接種されていません。予防接種週間はよい機会ですが、それ以降でも3月31日までには公費で可能です。4月1日以降は自費での接種となりますので注意して下さい。



今月の顔
 たつや君
 サッカーがんばってね

感染症情報

2月中旬現在の月山病院での感染症情報をお伝えします。
 感染予防にお役立て下さい。
インフルエンザ
 インフルエンザは少なくともはなつたものの残存しています。型はA型とB型が混在しており症状などからは区別はできません。A型にかかった人がB型になることも少ないながら認められていますので、もうしばらく(3月下旬頃まで)注意が必要です。

ウイルス性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎(吐き下し)が流行しています。以前は嘔吐が中心のノロウイルスによると思われる胃腸炎(一般医療機関ではノロウイルスの検査は行わないのですが)でしたが、現在当院では下痢が強くなる**ロタウイルスによる胃腸炎が多くなってきました**。ロタウイルスは白色便となり下痢が数十回にもなり2週間程度続くこともあります。治療は整腸剤等も処方しますが、下痢を止めすぎることは病気を長引かせることになるため、食事療法が最も大切となります。水分摂取が十分でない時やぐったりしている時などは点滴や入院が必要となります。感染力は強く手洗いは厳重に行ってください。登園、登校は下痢や嘔吐がおちついているようであれば基本的には可能ですが、保育園によって方針が変わる場合もあり、園とご相談ください。

月山病院小児科からのお知らせ

- 3月5日(水)は急患センター出務のため19時に受付終了させていただきます。(オンライン終了は18時45分です)
- 3月6日(木)午前は月山聖子の診察となります。
- 3月20日(木=春分の日)は9-12時で時間外対応させていただきます。

当院小児科スタッフによる絵本の紹介です。お声をかけていただければうれしいです。
 書評：2人でいるとやさしくなれる。
 たったひとりの大切な友達、心温まります。
 by 丸山

